

各位

第75回 全国学校新聞指導者研修会(秋田県秋田市) 要項

メインテーマ「コミュニケーション力を高める学校新聞」 ～ SNS時代における信頼性と使命 ～

主催：全国高等学校新聞教育研究会・(公社)全国高等学校文化連盟正会員団体 高等学校文化連盟全国新聞専門部
後援：文部科学省(予定)・(一社)日本新聞協会(予定)・秋田県教育委員会・秋田市教育委員会
秋田県高等学校文化連盟・秋田魁新報社・秋田県NIE推進協議会

<開催にあたって>

ある調査では高校生のSNS利用率*は98.9%（「LINE」82.9%、「YouTube」76.5%「Instagram」69.3%）に上り、「ほとんど全ての高校生がSNSを利用している」と指摘されています。このように、SNSは高校生のコミュニケーション手段として、とても便利なツールですが、その危険性も指摘されています。

ネットを通じた誹謗中傷、個人情報が抜き取られるなどです。また、投稿した情報から興味・関心が特定され、自分が関心を持たない情報は見えにくくなる「興味・関心のたこつぼ化」が起こると言われています。被害を防ぐには「SNSの使用を最低限に抑えることが大切」との指摘もあり、「使用をやめることも選択肢」と指摘する分析もあります。一方、メディアとしての「新聞」は、検索の速さや即時性では、SNSの後塵を拝してしまいます。しかし、1つの紙面にさまざまな情報を掲載する「一覧性」が大きな特徴となっています。新聞には、広い視野から自分が今まで触れることのなかった情報にも触れる機会があり、自らの考えを深めることが期待できます。予測困難な世の中を生きる上では「検索力」だけではなく、自分が知らなかった意見や情報にも触れて考える「多角的視野」も必要になります。学校新聞を通じて、SNS時代にも通用するコミュニケーション力（他者の意見を取り入れ、自分の意見を伝える力）を高め、信頼できる情報を見抜くリテラシー力をどう育てるのかを、本研修会が考える機会となることを願っています。

今回の研修会も、次年度高総文祭開催地である秋田県の「秋田にぎわい交流館AU」（総文祭会場は「潟上市／潟上市民センターかたりあん」）で実施します。また、より多くみなさまにご参加いただくため、今年も、研修会第1日目をオンライン配信し、2日間の研修内容を参加者の皆さまに事後配信する予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。

※(株)ペンマーク(高校生向け学習管理SNSを運営)利用の高校生13万人への調査（調査日：2023年8月7日）

1. 目的：高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、次年度の全国高等学校総合文化祭の開催地で開催する。
2. 対象：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者
3. 参加者（定員）：169人（会場参加70人・オンライン参加99人まで）
4. 日時：令和7（2025）年10月11日（土）～10月12日（日）
5. 開催会場：にぎわい交流館AU・4F研修室（JR秋田駅西口より徒歩10分）
秋田県秋田市中通一丁目4番5号（〒765-0013）
電話018-853-1133 Fax018-884-4788
6. オンライン：研修会1日目は「ZOOM」によるオンライン参加される方を募集します。
研修会2日目は希望者に当日撮影した記録動画を後日配信する予定です。

7. 研修会日程：

(★印はオンラインで配信するプログラムです。：お名前は敬称略で表示しています)

▽全体司会 神奈川県立高浜高等学校 定時制 木南 景子

第1日目：10月12日(土)

11:40～12:00 会場参加者 受付

12:00～12:10 開会あいさつ ★

▽(一社)全国高等学校文化連盟正会員団体

高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局長(三重県立相可高等学校教諭) 富安 道伸

▽全国高等学校新聞教育研究会 会長 松井 孝二

▽秋田県高等学校文化連盟新聞部会 会長(県立秋田西高等学校校長) 中山 智秋

12:10～13:10 記念講演「秋田県におけるNIE実践の現状と取り組み」

▽講師 秋田大学大学院教育学研究科教授

(兼秋田大学教育文化学部附属中学校校長)

外池 智

13:20～15:10 実践報告 ★

①13:20～14:10

実践報告(1)「滋賀県高校生写真ニュース大賞の取り組みについて」

▽コンテスト運営責任者(滋賀・県立国際情報高等学校教諭) 小渕 文恵

②14:20～15:10

実践報告(2)「まちなかの学校として～松陽高校新聞部の歩み」

▽実践報告者：秋田・県立能代松陽高等学校教諭 松村 美峰

15:20～16:00 グループ討議＜①記念講演 ②実践報告1 ③実践報告2 ④新任教員の悩み＞

▽総合司会：神奈川県立高浜高等学校定時制 教諭 木南 景子

16:10～16:50 高校新聞クリニック ★

▽講師：全国高校新聞年間紙面審査賞 審査員

滋賀・県立玉川高等学校 講師 鎌田 寛二

17:00～17:30 第2回全国高校新聞コンテスト表彰式

17:30～18:00 全国高等学校新聞教育研究会 理事会・総会(会員対象)

19:00～ 交流懇親会(会場：九十九秋田駅前店)

第2日目 : 10月12日(日)

(2日目は記録動画による後日配信になります)

9:00～10:00 技術講座「自ら調べる～戦後80年報道から～」

▽講師：秋田魁新報社社会部長 大石 卓見

10:10~11:40 研究分科会

○第1分科会「初心者のための新聞制作」

▽講師：富山・高岡第一高等学校教諭 長丸 和生

○第2分科会「テーマをめぐって」

▽世話人：広島・崇徳高等学校教諭 花岡 健吾
神奈川県公立高等学校元教諭 牧野 修三

○第3分科会「学校新聞とN I E」

実践報告「生徒の主体性を引き出す新聞記事の活用～「問い」が生まれる授業実践～」

▽発表者：秋田・県立大曲高等学校臨時講師

(秋田県NIEアドバイザー) 小川 康

▽世話人：神奈川・県立高浜高校定時制教諭 木南 景子

神奈川・日本新聞教育研究会 中根 淳一

11:45～11:55 地元報告「秋田総文祭2026に向けて」

▽報告者：県高文連事務局長・県立秋田北鷹高等学校教諭 鈴木 恵美

11:55～12:00 全体のまとめ

▽神奈川・県立高浜高等学校定時制教諭 木南 景子

号外 発行日 2025年7月15日 **宝島新聞より**

第2回 高校生の今を伝える
全国高校新聞
コンテスト開催



速報

仲間と作る、最高のジャーナリズム

応募期間は
7/15(火)～8/7(木)

- 2024年8月15日に、高等学校などの校報の部活動の中で、部員らが制作した「校報新聞」1紙を写取していただきます。
- 2025年10月までに校報発表会を企画し、部員らが発表会場で発表してください。

応募先
2024年度に、発行部数100部以上の部活動(1～10部)の部員が所属する校報コンテスト受付センター (各都道府県)

応募
各都道府県青少年教育振興財団
各都道府県青少年教育振興センター
各都道府県青少年教育振興センター(各都道府県)

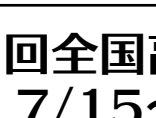
「第2回全国高校新聞コンテスト」

< 7/15～8/7まで受付中 >

主催：全国高等学校新聞教育研究会
 後援：報道実務家フォーラム
 早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所

応募用紙は下のURL又はQRコードから、
ダウンロードしてください。

https://drive.google.com/drive/folders/1lf10XaU5ums9AaPS_IX50PaVCa7uOd48?usp=drive_link



8.参加申込みについて(案)

(1) 会場参加の申込み方法について

申込用紙に必要事項を記入の上、全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター長・木南景子（神奈川県立高浜高等学校定時制）宛。メール又はファックスでお申込みください。併せて、下記の口座に参加料も送金してください。

なお、振込手数料は本人負担でお願いします。

参加費：①参加費4,000円 ②懇親会費5,000円（希望者）

【送金先】みずほ銀行 東京営業部（001）口座番号（普通）1003540

加入者名 全国高等学校新聞教育研究会

申込み締切：10月5日(土)必着

会場参加者の宿泊先について：研修会場「にぎわい交流館」のある秋田市は、宿泊先として、ビジネスホテル等が多くあります。しかし、行事やイベントと重なると宿泊先を確保が難しくなる場合もありますので、早く予約をすることをお勧めします。

(2) オンライン参加の申込み方法について

オンライン参加費1,000円（今回のZoomによるオンライン中継は研修会1日目のみ）。2日目が内容をダイジェストした記録動画の事後配信を予定しています。

申込期間：7月25日（金）から10月10日（金）まで

以下のURL又は右のORコードからPeatixの申し込みページに入り、申し込みを完了してください。

URL <https://peatix.com/event/4485448>

参加費は、クレジットカード、コンビニ(手数料220円は自己負担)等で納入します。 イベント管理者のPeatixからチケットを買う形になります) 併せて、別紙、「オンライン参加申込書」を下記、研修センター宛にメール又はFAXで送ってください。



9. 研修会についての問い合わせ先

研修会参加に際し、所属長宛て文書が必要な場合は、下記担当までご連絡ください。

【担当】高等学校文化連盟全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター

センター長 木南 景子（神奈川県立高浜高等学校 定時制教諭）

〒254-0806 神奈川県平塚市高浜台8-1

E-mail : kinami@pen-kanagawa.ed.jp

TEL : 0463-21-0417 FAX : 0463-22-1051

(定時制勤務のため、電話でのお問い合わせは午後をお願いします。)

申込締切：10月4日（土）必着

神奈川県立高浜高等学校定時制 木南景子あて

mail-address : kinami@pen-kanagawa.ed.jp

FAX : 0463-22-1051

第75回全国学校新聞指導者研修会（2025秋田）

参加申込書（会場）

※2人以上で参加される場合は、お手数ですがこの申込書をコピーして一人ずつお申込みください。

ふりがな
所属名

ふりがな
名前

校長・教頭・教諭・その他（ ）

（○で囲んでください）

担当教科

顧問歴：2年未満 2～5年 2～5年 5～10年 10～15年 15年以上

（○で囲んでください）

所属住所（〒 ）

電話

：FAX

mail：

当日の緊急連絡先

（悪天候で開催が危ぶまれるなど、緊急時の連絡先として使用します）

携帯☎

携帯E-mail：

高校新聞クリニック

希望する 希望しない

（○で囲んでください）

交流懇親会

参加する 参加しない

（○で囲んでください）

グループ討議について

今年も記念講演・実践発表者を囲んでの話し合いと、新任顧問の悩みに答えるグループに分かれて行います。下記のテーマから希望されるものを○で囲んでください。

A. 外池智さんの記念講演を聞いて

B. 実践発表(1) 小淵文恵先生の実践をめぐって

C. 実践発表(2)松村美峰先生の実践をめぐって D. 新任顧問の悩みに答える

<第2日目>研究分科会

第1研究分科会

第2研究分科会

第3研究分科会

（希望される研究分科会を○で囲んでください）

第2分科会は研究テーマ「コミュニケーション力を高める学校新聞～SNS時代における信頼性と使命～」をめぐって、配付資料をもとに意見交換をします。

顧問教師としての日頃のお考えご意見・悩みなどがありましたらご記入ください。あるいは貴校の新聞について簡単にご紹介ください。

その他、資料・縮刷版などの販売希望、連絡事項がありましたらご記入ください。

第75回全国学校新聞指導者研修会(2025秋田)

オンライン参加申込書

2人以上で参加される場合は、お手数ですがこの申込書をコピーして一人ずつお申し込みください。

オンライン申込みの方法

配信サイト「Peatix」への申し込みに加えて、このオンライン参加申込書を、メールで zenkoshin.jonin@gmail.com 宛に送ってください。オンライン参加の皆さんの基本データと研修会への参加目的、意見等伺いたいと考えております。

オンライン配信は1日目のプログラムのみです。2日目の研修会の様子は、後日記録動画でお送りする予定です。

メール：

ふりがな

所属名

ふりがな

名前

校長・教頭・教諭・その他（ ）

担当教科

顧問歴/職歴(新聞部顧問以外の方は現在の職歴など)

又は職務

2年未満 2～5年 2～5年 5～10年 10～15年 15年以上

電話

FAX

学校新聞についての日頃のお考え、ご意見・悩みなどがありましたらご記入ください。顧問の先生は、貴校の新聞について簡単にご紹介ください。